



木古内町移住ワンストップ窓口

木古内町まちづくり新幹線課まちづくりグループ
〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町218番地
《TEL》01392-2-3131 《E-MAIL》info@town.kikonai.hokkaido.jp
<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/>



きこないちょう 北海道・木古内町 暮らしの読本

— 木古内町移住案内 —





木古内町

で暮らすということ。

北海道新幹線が開通し、北の玄関口となった木古内町。2020年には函館・江差自動車道木古内IC(仮称)(高規格道路)が開通し、バスや「道南いさりび鉄道」も走る交通の要衝としての期待が木古内町の未来を写しています。

木古内町は北海道の最南端、渡島半島に位置し、1年を通して比較的温暖な地域です。津軽海峡に面した自然豊かなまちは、農業・漁業・林業が主幹産業であり、前浜で揚がる美味しい海の幸やブランド牛「はこだて和牛」などの特産品が有名です。

室町時代から和人が定住していた記録もあり、北海道内でも歴史の古い木古内町。毎年1月中旬に行われる「寒中みそぎ祭り」は、1831年(天保2年)から続く由緒ある祭りで、厳寒の津軽海峡で神社のご神体を清め、1年の豊漁豊作を祈願する伝統行事です。5月には、約60種類・約5万球の

チューリップが咲き誇るサラキ岬で「チューリップフェア」を開催。また幕末に活躍した、日本初の太平洋横断を成し遂げた「咸臨丸」をテーマに、真夏のイベントとして木古内のまちを盛り上げています。

木古内町で暮らすということを考えたときに、医療機関や教育機関、買い物などの生活環境はどうなっているの?と思うことでしょう。この後に話をしてくれる先輩移住者の声や、まちの移住定住支援制度などに触れてみると、自分の木古内移住生活をイメージできるかもしれません。まずは、お試し暮らしから始めてみませんか?新しい木古内町での暮らしの扉は、あなた自身で開けてみてください。東京からは新幹線で約4時間。函館までは車で約50分。交通の利便性に優れた木古内町で、北海道移住計画を進めてみませんか。

木古内町の概要 (2018年6月末日現在)

- ◆ 人口／4,224人
(男性 1,962人／女性 2,262人)
- ◆ 世帯数／2,225世帯
- ◆ 面積／221.87平方キロメートル
- ◆ 気候／北海道の南に位置しているため、北海道としては比較的温暖な地域です。

※人口は外国人を含む。

町の平均気温の表

月	平均気温(度)
1月	マイナス2.5
2月	マイナス2.0
3月	1.1
4月	6.5
5月	11.0
6月	14.6

月	平均気温(度)
7月	18.8
8月	21.4
9月	17.9
10月	11.6
11月	5.3
12月	マイナス0.1



木古内町での暮らし入門

のびのびと成長する子どもたちの姿に感動の日々です！

木古内町出身の和宏さん。高校を卒業して大阪の専門学校へ進学し、建築デザインを学び就職。看護師の貴美子さんと出会い結婚。その2年後奈良へ移りました。2015年、琳太郎くんがまだ7カ月の頃に木古内町へ移り住みます。「覚悟という覚悟はなく、ワクワクした感覚で移住してきましたね」と、貴美子さんは笑います。和宏さんは、お父さんが営んでいたブランド米「ふっくりんこ」の生産と、いまやブランド牛に成長した「はこだて和牛」の繁殖業を継ぐ決心でUターン。建築系の図面から施工までを生業にしていた和宏さんと貴美子さんは最初、戸惑いながらもいまの仕事に向き合いました。「始めて牛の出産に立ち会ったときには、なにをしていいのかもわからず、立ちすくんでしまいました」と和宏さん。「でも、地域の人や農家仲間に助けられて自信を持って取り組めるようになったんです。本当に有り難かったです。晴琉くんも生まれて、自然の中でのびのびと子育て出来る木古内町は理想の環境なのだそう。「木古内町は、四季の移ろいがはつきりしているし、梅雨もないで、快適に、心地良く生活できる住みやすいまちだと思いますよ。冬はちょっと雪が多いのですが、薪ストーブの温かさとゆらゆらと揺れる炎を見ているだけ癒されるんです。子育ても、中学生までの医療費無料など、まちからの支援も充実していますよ」。木古内町の人たちは心がオープンな方が多く、ほどよい距離感で子どもたちを見守ってくれるそうです。「夜の星空や、みそぎ浜の夜明けまえの美しい空には感動します。地域との繋がりもしっかりしている木古内町で、ぜひ暮らしてみませんか？」。



PROFILE 手塚和宏 さん(36歳)

貴美子さん(34歳)
琳太郎くん(4歳)・晴琉くん(2歳)

◆移住歴／3年 ◆職業／農業・畜産業
木古内町出身の和宏さんが、奈良県出身の貴美子さんと琳太郎くんを連れて帰ってきて3年。父が営むブランド米「ふっくりんこ」とブランド牛「はこだて和牛」の生産に従事する。



(左)ブランド牛「はこだて和牛」の牛舎。母牛35頭から、一年を通して仔牛が生まれてくる。
(右)トイプードルのココちゃんも、奈良県から一緒に木古内町へ移住してきた大切な家族だ。

私の使命は、木古内町の存在感を魅せる仕事だと思っています。

大学を卒業後IT周辺機器メーカーへ就職した浅見さん。東京や横浜など首都圏で13年間の営業マン時代を過ごすも、社会や公に貢献しているのかと自問自答し、意を決して退職。北海道新幹線開業の3年前、東京で木古内町役場担当者の熱い思いを聞き、地域おこしを通して「公」に貢献できるのではないかと、知り合いの誰もいない木古内町へ移り住む決心をしたそう。「始めは正直、寂しい感じのまちだなあと思いました(笑)」。でも、その思いはすぐに変わったと言います。「北海道新幹線開業に向けて、まちの気運が高まっていた時期なんですね。町民のみんなが期待感を持って、盛り上がっていたんです。体験観光の手伝いなどを通して多くの人たちと出会う中で、心に変化が現れてくれました」「木古内町の人は閉鎖的なところが全くなく、すぐに打ち解けられました。よそ者を、素直に受け入れてくれる風土があるんですよ。有り難かったです」。

生活面でも、ショッピングモールはないけれど買い物にも支障はないし、不安に感じられる冬の雪も慣れれば大丈夫と言います。「雪道の運転はスピードを出さなければいいことですし、雪搔きは日頃の運動不足解消には最適な環境なんです」。どこまでも前向きな性格が、



木古内町の暮らしには合っているのでしょうか。「飛び込んで来れば活躍できるチャンスはあるまちですしね。より人が温かいです」と、先輩移住者としての心構えを教えてくれました。

もっと木古内町へ立ち寄ってもらえるような、存在感のあるまちづくりを目指している浅見さん。道の駅の観光コンシェルジュとして笑顔が弾けました！

PROFILE 浅見尚資 さん(44歳)千葉県出身

◆移住歴／6年
◆職業／道の駅みそぎの郷きこない
観光コンシェルジュ

木古内町の地域おこし協力隊として2012年7月に移住を果たす。3年間の協力隊員時代に培った観光ノウハウと人脈を最大限に活かしながら、木古内町の発展を加速させている。



(左)年間50万人が訪れる「道の駅みそぎの郷きこない」。道の駅ではお土産ショッピングを満喫できるほか「アル・ケッチアーノ」のオーナーシェフ奥田政行氏が監修した「どうなん's Ocada Spirits」で木古内イタリアンが楽しめる。

(右)道南西部9町の特産品を中心にお土産を集めたお土産処。新しい商品にも浅見さんは目を光らせている。



初めての 木古内町暮らしを 支えるお話



子育て支援

妊娠婦の方の健康診査費用と妊産婦健診時の通院費用を助成

安心して出産することができるよう妊娠婦の方の健康診査と超音波検査の費用の一部及び妊産婦健診時の通院費用を助成します。

子どもの医療費を助成

子どもを安心して育てることができる環境を推進するため、満15歳になる年度の年度末まで医療費を全額助成します。

子育ての悩みごとの相談をサポート

身体測定や子育てに関する悩み事の相談に応じる育児相談の場を提供します。

育児の交流をサポート

屋内外の遊びなどを通じて、親子で楽しむ場や同じ環境の親子のみなさんの交流の場を提供します。

各種予防接種の費用を助成

子どもに対する定期予防接種及び任意予防接種(一部)の費用を全額助成します。

インフルエンザ予防接種の費用を助成

中学生までのインフルエンザ予防接種の費用を全額助成します。

保育料を軽減

保育園に通園している子どもの保育料を軽減します。

学校給食費が無料

木古内町立学校給食センターが提供する小中学生の学校給食費の無料化を実施しています。

教材費を助成

小中学生が学校で使用する教材費の保護者負担を一部助成します。

小中学校の部活動及びスポーツ少年団の大会参加費を助成

小中学生の部活動及びスポーツ少年団の北海道・全国大会出場に係る参加費を助成します。

子どもに食育・体験学習の機会を提供

食に関する知識や望ましい食習慣を身につけてもらうために料理教室の開催や、体験学習を通じて、主体性や創造性を育み、健やかに成長していくよう「無名塾」を開催しています。



育児教室



学童保育

健康・高齢者支援

健康についての悩み事をサポート

健康に過ごすことができるよう心身に関する様々な質問に応じます。

高齢者に運動・交流の機会を提供

高齢者の方を対象に体力維持のための運動の機会とともに交流の場を提供しています。

介護に関する様々な悩み事をサポート

高齢者のみなさんやその家族、近隣で暮らしている方々の介護に関する悩み、または各種制度に関することなど様々な相談に応じます。

介護用品の購入費用を助成

一定の要件を満たす在宅で寝たきりや痴呆にある高齢者に対し、介護に必要な介護用品を助成しています。

高齢者の予防接種費用を助成

高齢者のインフルエンザ予防接種及び、肺炎球菌ワクチン接種費用を助成します。

敬老祝い金を支給

100歳を迎えた方を対象に敬老祝い金を支給します。

高齢者の生きかいづくりの機会を提供

60歳以上の方を対象に「リロナイふれあい学園」において、健康ではつらつと暮らせる学びの場を提供しています。

医療機関送迎バス

町内の医療機関を利用される方を対象に無料送迎バスを運行しています。

各種がん検診費用が無料

20歳以上の方を対象に胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん(40歳以上)・子宮がん・乳がん検診を無料で実施しています。

高齢者等入浴無料券の交付

高齢者及び障がい者的心身の保養、健康保持を目的に町内の入浴施設の入浴無料券を交付しています。



健康管理センター



特別養護老人ホームいさりび

木古内町暮らしのガイド

医療・福祉環境

国保病院・診療科: 内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科、人工透析／診療所: 1カ所／歯科医院: 1カ所／特別養護老人ホーム: 1カ所(80床)／通所リハビリテーション: 1カ所／認知症高齢者グループホーム: 2カ所(27床)／シルバーハウジング: 1カ所(30戸)

教育・文化環境

保育園(民間): 2カ所／学童保育(町営): 1カ所／小学校: 1校／中学校: 1校／郷土資料館「いかりん館」(無料)／中央公民館(図書室あり・無料)／スポーツセンター(無料)／テニスコート(夜間有料)／市民プール(無料)／パークゴルフ場(有料)／鷹取球場(夜間有料)／スキー場(無料)

生活環境

銀行: 1店／信用金庫: 1店／郵便局: 4店(簡易郵便局含む)／ホームセンター: 2店／大型スーパー: 2店／コンビニエンスストア: 5店



住宅支援

町内の空き家・土地情報を提供

町内における空き家や町有地の情報を移住定住を希望される方に提供します。

町営住宅の情報を提供

町内における町営住宅の情報を移住定住を希望される方に提供します。

下水道設置費用を助成

既存の住宅を下水道に接続する場合の改造費用を助成します。

高齢者等除排雪を助成

自力での屋根の雪下ろしや生活用道路の除雪が困難な場合に費用を助成します。

空き家リフォーム助成

売買・賃貸による利活用を目的とした空き家のリフォームを行う所有者・賃貸者、もしくは自らの居住のために空き家を購入して1年以内にリフォームを行い、5年以上の居住を確約できる方を対象に、対象経費の1/2の額、100万円を限度に助成します。

木古内町ちょっと暮らし住宅

木古内町へ移住を検討している方へ、事前に木古内町での生活を体験できる「ちょっと暮らし住宅」を用意。北海道新幹線木古内駅から徒歩約10分と交通の利便性の高い住宅地にあります。

- 住所／北海道上磯郡木古内町字本町477番地10
- 間取り／2LDK
- 利用期間／1週間以上1ヶ月以内
- 利用料金／1,500円/1日(税込、光熱水費含む)
※冬期間は暖房使用料が加算(620円/1日) ※前納制

